6月

阿知須町広報

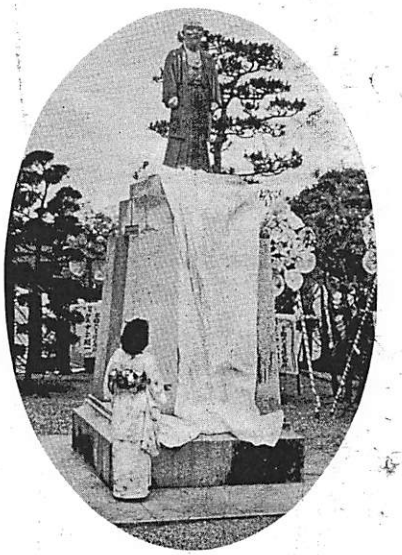
昭和39年6月5日

No.152　この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
印刷　宇部新聞印刷所

今月の納税は
町民税の第1期分
国保保険税の第1期分
年金保険税の6月分

万年ため池完工式と 徳田譲甫翁立像の除幕式終る



万年ため池の完工式が6月2日橋本知事が出席され、町長ほか町関係者多数が参列して、午後1時から阿知須中学校体育館において盛大に行なわれました。

数年前から毎秒6㍑という激しい漏水のため決かいの危機に陥っていたため、農業に重要な役割りをしている万年ため池の築造者であり、また昨年8月末に起工式を行ない県営事業と翁の銅像がたこうされました。が、しかし昭和18年翁の銅像は大東亜戦争が最大激を極めたとき赤襟を堤防の補強工事にとりかかっていた

「アーン」大きな口をあけて

4日からムシ歯予防週間
丈夫な歯で健康を

6月4日から10日まで口腔衛生週間が全国的に実施されます。線香花火式にこの1週間だけ「むし歯予防」に力を入れるのでなく、これを機会に1年間歯を大切にしていただきたいものです。とくに子どもの歯は大切にしていただきたいものです。

子どもの歯は永久歯の生えるまでの暫間なものであって、かむ機能もたいしたことはないと思ったら考え方をしている方が多いようですが、やはり永久歯が生えるまで栄養をとる重要な器官の一つです。

また同時にかむことは、あご、顔、頭蓋の発育を促すことになります。

出生時の顔の大きさは成人の約40%であり、6才になると約80%まで発育します。12才には約90%になり成人に近くなります。

このように6才から12才までの発育の割合をくらべると6才までの発育が非常に大きいことがわかります。もし6才ごろまでに発育を阻害する因子、たとえば「むし歯」のためにかむことができなくなると、顔の発育が悪くなります。

では「むし歯」の予防と申しますと妊娠中および乳幼児期、学童期、風呂場などに行って歯をみがくことが一番よいのです。それで3～3～3式歯磨法として、アメリカでは食後3分以内に1日3回、3分間、歯をみがくことが唱えられていますが、日本の場合は施設的にもなく、食後できるだけ早くみがくのがよいとされています。

前午後時間をきめて、しかも「むし歯」になりにくい食品、くだものをとり上げて下さい。

× × ×

6月4日から10日まで口腔衛生週間が全国的に実施されます。線香花火式にこの1週間だけ「むし」つくるためには牛乳、大豆、めざし、バター、チーズのように脂肪質、カルシウム、燐、マグネシウム、ビタミンA、Dを豊富にふんでいる食品、またイカ、タコは、歯の形成にぜひ必要なリジンを多く含んでいますので幼児のおやつとしてスルメなどを与えるのもよい方法です。これはかた着便をつけるためにもなり、かむことによって消化吸収もよくなり、あご、顔、脳頭蓋の発育もよくなります。

また「歯ぐき」の弱い人にはぜひ生野菜、くだものを食べて「歯ぐき」をきたえてください。最近文化が発達して人間生活があまりにも自然からはなれて柔たり焼たりして、柔かいものばかり食べるようになったことが「歯ぐき」を弱める大きな原因です。

もう一つの方法は歯をがいて「むし歯」を予防する方法です。

食後できるだけ早くみがくのがよいのです。それで3～3～3式歯磨法として、アメリカでは食後3分以内に1日3回、3分間、歯をみがくことが唱えられていますが、日本の場合は施設的にもなく、食後できるだけ早くみがくのがよいのです。それで3～3～3式歯磨法として、アメリカでは「むし歯」のためにかむことができなくなると、顔の発育が悪くなります。

このように6才から12才までの発育の割合をくらべると6才までの発育が非常に大きいことがわかります。もし6才ごろまでに発育を阻害する因子、たとえば「むし歯」のためにかむことができなくなると、顔の発育が悪くなります。

では「むし歯」の予防と申しますと妊娠中および乳幼児期、学童期、風呂場などに行って歯をみがくことが一番よ

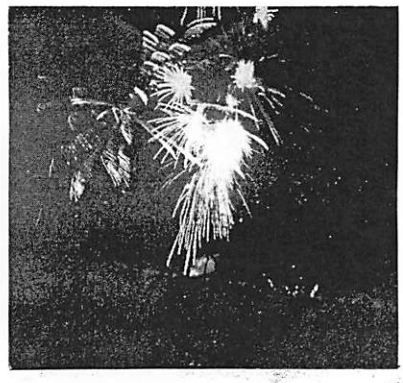


写真　㊍は初夏の夜空を色どる花火　㊎は「史上最大り作戦マーチ」で市中行進する県警察音楽隊

初夏の海面夜空を色どつたおかげん船、花火

ことしは200年余りも続いていた踊り山がでず、かつてのにぎわいもなく終つた本町名物の17夜祭は27日の前夜祭で幕あけされました。

28日は早朝から打揚げ花火が、初夏の大空にさく裂し、午後3時から山口県警察音楽隊が、阿知須駅前、明神様境内、漁業組合前で「史上最大の作戦マーチ」「東京五輪音頭」などを演奏、市中行進でお祭りムードを高め観衆を魅了しました。夜はおかげん船が初夏の海面を美しく色どりましたが、風間小雨に見舞われて、せつかく準備していた花火大会も29日に延期され、観衆を残念がらせました。

好天になつた29日は、盛大に花火大会が、"井関川下流で行なわれ美しく初夏の夜空を色どりました。

相撲卓球優勝

吉敷郡春季体育大会

吉敷郡中学校春季体育大会は5月10日と24日の両日にわたつて小郡中学校において熱戦が展開されました。

10日は陸上競技、剣道、柔道、相撲の4種目が行なわれ、阿中校チームは、陸上競技総合の部で2位に、また剣道も小郡中に惜敗して2位に終りました。相撲は強敵小郡中を破つて優勝に輝きました。また24日は野球、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、庭球、卓球が行なわれ、卓球男子は小郡中を破り優勝に輝きました。両日とも天気はあまりぱつとせず、競技途中で雨が降りだす悪天候でしたが、それでも選手たちは元気一杯、のびのびと最後まで生き生きと戦つていました。

常日ごろの鍛錬を競い合いました成績は次のとおりです。

陸上競技男子の部　次勝
野球　次勝、ソフトボール　次勝
バレーボール男子　次勝、バスケットボール男子　次勝
学年別阿中校優勝者
百　米　新谷政芳（1年）
百　米　古谷彰正（2年）
走巾跳　弘中　譲（2年）
走高跳　西村光子（1年）
走巾跳　田辺善子（1年）
砲丸投　神農キヨ子（1年）
剣道個人の部
優勝　徳田彦夫（1年）3位
優勝　大浜克三（3年）

第8回町民運動会

雨のため優勝旗はあずかり

5月24日、町民の親睦と融和、体力向上をめざして、9部落チーム参加のもと、第8回町民運動会が阿中校グランドにおいて開かれました。

午前9時、小学校3、4年生の百米を皮切りに熱戦が展開され、懸念されていた雨も心配ないかと思われましたが、残念ながら競技途中で雨がはげしく降りだし、午前中で中断。

このため町がとし新らしく購入した真紅の大優勝旗は一時あずかりとなりました。

子ども会部落別リレーを残こす午前中の成績は次のとおり。

目岡部落	69点
砂飛部落	46点
東条部落	16点
原生部落	53点
岩倉部落	61点
寺嶌部落	34点
中西部落	58点
細田部落	29点
鴨生原部落	37点

血液型の判定検査を受けましょう

運転者のみなさんはすでに、ご承知のことと思いますが、山口県では免許証に血液型判定カードをけい刊して、自動車の運転をするよう呼びかけています。

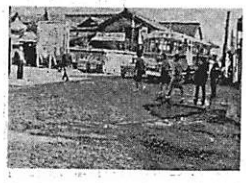
そこで本町でも共立病院と岡仁病院に県の指定した血液型判定カードをそなえておりますので、運転免許所有者の方は必ず次の期間内に血液型の判定検査を受けられるようお知らせいたします。

阿小校区域内、6月10、11、12日

この3日間
共小校区域内、6月15、16、17日
の3日間

時間は午前8時30分から午後5時30分まで。料金は65円です。

交通事故でけがをしたり思わぬ災害で負傷したときなど血液型がわかつていれば、1分1秒をあらそう傷者の治療も早く受けることができます。万一の事故にそなえて、この機会に進んで検査をうけましょう。



運転者は法令講習会

歩行者は街頭指導

町交通安全対策協議会では5月11日から県下いつせいに行なわれた春の交通安全運動にそなえて、町議会議員、交通安全協議会役員、中学校生徒、小学校児童により、午前7時から8時間まで歩行者を街頭で指導し、また運転者には阿小校講堂において法令講習会を開催して、歩行者、運転者がともに交通ルールを守るよう指導いたしました。

この運動を機会に1人1人が正しい交通ルールを守り、私たちの日常生活の中にとけこませて、一年々々増え続けている悲惨な交通事故を少しでも少なくして、明るい住みよい町にしたいものです。

自動車所有者のみなさまへ

自動車損害賠償保障法施行令の改正に伴なつて、2月1日から保険金の最高支払額および仮渡金額が次のように変りました。

最高支払額

	死亡	死亡50万円	
昭和39年1月31日以前に締結した保険契約（旧）	傷害	重傷	30万円
		軽傷	3万円
昭和39年2月1日以前に締結した保険契約（新）	死亡	死亡までの傷害	30100万円
	傷害	後遺障害	5万円～30万円

（注）保険期間の始期が2月1日以降の契約でありましても旧料率による先日付契約は旧保険額が適用されます。

仮渡金額

傷害	死亡	事故発生日が昭和39年1月31日以前の場合	事故発生日が昭和39年2月1日以降の場合
1万円	2万円	12万円	30万円
2千円	5万円		
	2万5千円	5千円	5千円

旧契約（死亡50万円）を締結されている方はお早めに旧契約を解除して新契約（死亡一百万円）に切替えられるようおすすめします。

詳細は最寄りの損害保険会社におたずね下さい。

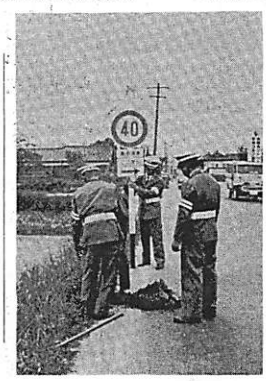
御米橋～市営バス車庫前

40キロの速度制限に

町交通安全対策協議会（会長、中尾岩雄）では、文化の発達につれて交通機関が急げきに増し、1日2800台にのぼる自動車の交通量を数えていた国道190号線の御米橋～北況の615㍍の区間の速度制限、駐車禁止の陳情書を県に提出していましたが、このほど40㌔の速度制限がかなえられました。

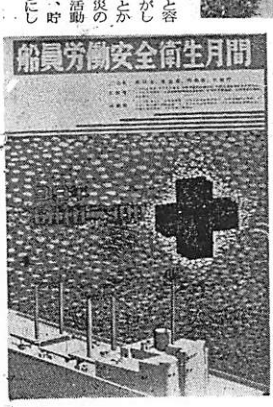
昭和36年から38年11月までに死者2名、重傷者5名、軽傷者6名、物件の損害8件という甚大な被害を出していたこの国道も、これによつて少しでも被害を少なくしたいものです。

なお駐車禁止も近くかなえられる予定です



防火用水では絶対に遊ばせないように

気候も暖かくなり子どもたちは海や川などでの水遊びが多くなりますから子どもが落ちこむと容易にあがれず大事になることがしばしばあります。また布切れとか石など異物を放置されると火災の際に敏速な行動ができず消火活動にも支障をきたします。また防火貯水槽などでの水遊びも多くなります。貯水槽は深さ2㍍くらいあり、しかも底面はすべりやすくなつていますので、貯水槽は絶対遊ばせないようにしましょう。



農弔錄

◇出生

金重　正三男	武司	岩西
田中　幸男	長女	節子 飛石
原田　常男	長男	義隆 岩上
磯部　隆幸	長男	竜浩 中村
武安　重治	長女	洋子 小南
浜崎　登一	長男	晋一郎 砂三
中野　正昭	長男	敦 編南

◇婚姻

夫	福井　雅毅	仙台在
妻	折井　昭子	東京都
夫	沢田　隆夫	利軍キクノ
妻	蔵富士昌子	西条
夫	森本　豊	井関
妻	小倉志のぶ	山本　寅次
夫	金田　健勝	三入江キヌコ
妻	岡野美和子	砂山　国弘　サト

◇死亡

中村　逸信彦	67	4月25日	飛小
岩上　徳恵	80	5月23日	石西
山口　昌幸	38	5月5日	松
上野　京子	55	5月20日	東
大田　時治	61	5月15日	砂一
坂野　秋子			
己要　義之			
庄野カズ子			
天津　塩見			
実雄　長子			
竹重　豊島			
神永　敦人			
城野　初枝			
三浦　博代			
大中　光正			
細田　幸男			
田中　富子			